

投稿の手引き

1. 原稿はワードプロセッサを原則とし、1頁あたり20行、1行あたり25字とし、右側に6cm程度の余白をとり、行間を紙面全体にわたるようによくあけ、A4版用紙に印字する。手書きの場合は、A4版400字詰原稿用紙を用いる。アブストラクト等の英文はワードプロセッサまたはタイプライタを用い、ダブルスペースで印字する。
2. 原稿には、表題として第1頁に、和文題目、漢字著者名、英文題目、ローマ字（略さずに）著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。つづいて、英文アブストラクト、同和訳、和文本文、文献、図・表・写真の説明、同和訳をこの順に項目毎に用紙を別にして記す。ただし、報文、雑報は英文の所属官署とアブストラクトは省き、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれがなくなると省くことができる。
3. 英文アブストラクトは、目的、仮定、方法、結論等を明確に書き、本文の数式、図等は引用しない。
4. 本文
 - 4.1 節の切れ目は1行あける。
 - 4.2 節の見出しはゴシックとし、各節の本文は新しい行から1文字あけて書き始める。文の切れ目で行を変えるときも1文字あける。
 - 4.3 句読点には、、（ピリオド）、、（コンマ）を使用し、、は用いない。
 - 4.4 人名、地名の読みにくいものには振り仮名を付ける。
 - 4.5 まぎれやすいアラビア数字、ギリシャ文字、ローマ文字、ベクトル記号等には、片仮名でフリガナ（朱書）を付け、大文字、小文字の別を示す。添え字は判別できるようにはっきり書くか、校正記号（朱書）を付ける。
 - 4.6 数式、特に本文中の数式はなるべく行間が1行以上にならないようにする。
 - 4.7 単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 4.8 暦年は原則として西暦を用いる。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
 - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図等に直接書かず、別紙に番号順にまとめて列記する。英文の場合は和訳を添付する。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ず付ける。
 - 5.2 図等の挿入箇所を本文の右スペースに朱書する。
 - 5.3 図等には、第1図、Fig.1、表1、Table 1のように通し番号を付け、隅に著者名を記しておく。
 - 5.4 製版後は図の修正は不可能なので注意すること。刷上がり寸法または縮率を記入する。ただし、縮率は編集の都合により変えることがある。
6. 参考文献
参考文献は、本文の末尾に原則として次の形式に従って列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。
雑誌 著者名(西暦年)：表題、雑誌名、巻数、号数(原則として省略)、ページページ。
単行本 著者名(西暦年)：書名、第何版、発行所、総ページ数(または引用ページ)。
(例)
安藤邦彦(1992)：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*験震時報*、**55**, 139-156。
宇津徳治(1985)：*地震学*、第2版、共立出版、310pp。
HULL, A. G. and C. NICHOLSON(1992)：Seismotectonics of the Northern Elsinore Fault Zone, Southern California, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **82**, 800-818.

平成6年10月31日発行

編集兼発行人

気 象 庁
東京都千代田区大手町1丁目3-4

印刷所

株式会社 双 文 社
東京都文京区本郷1-14-8

Quarterly Journal of Seismology

Vol. 58 Nos. 1~2

October 1994

Contents

PAPERS

- Meteorological Effects on the Crustal Level Change at Omaezaki
..... Masahiro KISHIO, Hiroshi KOIDE and Michio TAKAHASHI 1
- On the 1993 Kushiro-Oki Earthquake
..... Masaki NAKAMURA, Akio KATSUMATA, Tatsuo KUWAYAMA,
Tsuneo SHIRAI, Fujio KUSANO, Osamu NAGAOKA,
Toshihiko HASHIDA and Isao HASHIMOTO 11

REVIEW

- Summary of the Eruptive Activity of Sakurajima Volcano since the 1914
(Taisho) Eruption..... Kohichi UHIRA 49

Published

by

The Japan Meteorological Agency,
c/o Seismological and Volcanological Department, JMA,
Ohte-machi 1-3-4, Chiyoda-ku, Tokyo 100, JAPAN.